

外部評価意見への対応方針

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
1	H29.6	<p>・29年区運営方針の戦略5-1に関連して【ネットワークサポーター事業について】</p> <p>「区役所や相談機関に行けない方、どこに相談に行けばよいかわからない方等が相談できる場所として、身近な集いの場である会館等に相談窓口と見守りの起点となる窓口を開設するために平成30年度で予算化していただきたい。」というご意見をいただいた。</p>	<p>・ネットワークサポーター事業については、浪速区の独自事業として平成25年度から実施し、災害時や見守り活動に活用できる要援護者名簿を作成するために、75歳以上の方を対象として要援護者名簿づくりを行ってきた。平成27年度からは、大阪市の事業として全区において要介護認定3以上の方や重度の障がい者手帳を持っている方などを対象とした要援護者名簿づくりが始まり、浪速区の事業は大阪市の事業の対象とならない方をカバーするための事業として継続し、おおむね65歳以上の方を対象として進めてきた。しかし、平成27年度から大阪市の事業として要援護者名簿づくりが実施されたこともあり、ネットワークサポーターに従事していた浪速区の独自事業については、平成28年度をもって事業を終了した。しかし、単身高齢者が多く、また人口の流動性が非常に高い浪速区において、地域にどのような仕組みが必要かを検討し、新たな事業の構築を検討したい。</p> <p>(H30運営方針 様式3取組項目2)</p>	②
2	H29.6	<p>・平成29年区運営方針の具体的取組1-1-2について【警察OBによる青色防犯パトロール活動】について</p> <p>「現在、警察OBによる青色防犯パトロール活動を行っているが、平成29年度で終わると思うが平成30年度はどうするのか。」というご意見をいただいた。</p>	<p>・具体的にどうするかは、今後の検討になるが、非常に重要な課題だと思っているので、防犯カメラ等を含め、防犯対策について総合的に検討していきたい。</p> <p>(H30運営方針 具体的取組1-1-2)</p>	③
3	H29.6	<p>・平成29年区運営方針の具体的取組4-1-2に関連して【まちづくりセンターについて】</p> <p>「地域にとって地域活動協議会の各事業や会計・運営において浪速区まちづくりセンターの担う役割は大変重要であるが、今後まちづくりセンターの縮小ではなく拡充して欲しい。」というご意見をいただいた。</p>	<p>・まちづくりセンターのあり方や方向性については、地域の意見等を踏まえ、検討を行う。</p> <p>(H30運営方針 めざす成果及び戦略4-1関連)</p>	②
4	H29.8	<p>・平成29年区運営方針戦略2-1に関連して【星野リゾートの開発をきっかけとしたまちづくりについて】</p> <p>「星野リゾートの進出は地元としても歓迎している。地域活性化のために、行政も環境整備等をお願いしたい。」というご意見をいただいた。</p>	<p>・開発事業者との接点はあるので、しっかり取り組んでまいりたい。</p>	⑤
5	H29.8	<p>・平成30年度の予算・施策の方向性について(平成29年区運営方針戦略2-1に関連)</p> <p>【にぎわい事業の廃止について】</p> <p>「基金を財源とした賑わい事業(夜市など)は今年度限りで廃止とのことだが、区役所と民間で苦労して実現したものであり、支援を続けてはどうか。」というご意見をいただいた。</p>	<p>・もともと平成29年度で終了予定のものであり、自立化の目的が立った事業もある。支援・協力の継続は検討するが、区の施策全般の優先順位等も踏まえる必要がある。</p>	⑤
6	H29.8	<p>・平成30年度の予算・施策の方向性について(平成29年区運営方針戦略3-1に関連)</p> <p>【浪速まなび支援事業について】</p> <p>「今年度よりも質を下げない様に進めていただきたい。」というご意見をいただいた。</p>	<p>・H29年度をベースとしてH30年度につなげていきたい。</p> <p>(H30年度運営方針 具体的取組3-1-1)</p>	②
7	H29.8	<p>・平成30年度の予算・施策の方向性について【発達障がいサポート事業について】</p> <p>「発達障がいにかかわって、判定を受けていないいわゆるグレーゾーンのお子さんについてどのようにすくいあげていくのか。」というご意見をいただいた。</p>	<p>・家庭児童相談員を小学校に定期的に派遣したいと考えている。必要な支援を受けていない児童については、保護者へのアプローチの仕方を関係者とともに考えていきたい。</p>	②
8	H29.8	<p>平成30年度の予算・施策の方向性について【(小中学校で)日本語が十分に話せない、理解できない児童生徒への対応について】</p> <p>「予算措置等はどのように考えているのか。」というご意見をいただいた。</p>	<p>・平成29年度には、大阪国際交流センターと連携し、外国人住民のための1日インフォメーションサービスの周知や、次年度小学校入学予定の外国人住民の方のためのブレスクール事業を実施した。</p> <p>・学校や地域の実情に応じた多言語対応可能な人材を学校に配置する取り組みを実施する。</p> <p>(H30運営方針 具体的取組3-2-2)</p>	① ②

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
9	H29.8	・平成30年度の予算・施策の方向性について(平成29年区運営方針の戦略1-1に関連) 【防犯カメラについて】 「稼働していない防犯カメラはどうしたらいいか。」というご意見をいただいた。	・警察署の調査で稼働状況を確認した。今後、防犯カメラの設置にあたっては、新規設置か、既存のものを更新するかは犯罪抑止効果の高い場所を中心に警察署や地域の方と相談して行ってきたい。 (H30運営方針 具体的取組1-1-2)	②
10	H29.8	・平成30年度の予算・施策の方向性について(平成29年区運営方針の戦略1-1に関連) 【防犯カメラについて】 「浪速小学校が新しくできたので通学路を重点的につけて欲しい。」というご意見をいただいた。	・平成30年度こどものための見守りカメラ(市民局予算)として区内11か所に設置予定。	②
11	H29.8	・平成30年度の予算・施策の方向性について 【交通事故をなくす運動について】 「子ども、高齢者のために自転車の安全教室を開く等の予算を組み込んでいただけるとありがたい。」というご意見をいただいた。	・当区では本年新たな取り組みとして、8月には難波にある大型家電量販店内で自転車シミュレーターの体験をしていただいた。また区民まつりでは、自転車の安全運転免許証の交付も行っている。今後の取り組みについては検討させていただきます。	①
12	H29.8	・平成30年度の予算・施策の方向性について(平成29年区運営方針の具体的取組1-1-3に関連) 【こども110番の家について】 「こども110番の家が有名無実化しているところが多い。実態調査をすべき。」というご意見をいただいた。	・安全安心マップ作成時や広報等で周知や新規募集を行うとともに既存の登録分について書面で現状を確認した。 (H30運営方針 具体的取組1-1-3)	②
13	H29.8	・平成30年度の予算・施策の方向性について(平成29年区運営方針の戦略1-2に関連) 【有償啓発指導員について】 「放置自転車対策の有償啓発指導員は全く役に立っていない。」というご意見をいただいた。	・浪速区の放置自転車が減少していることや啓発活動は重要であるので引き続き取り組んでいくが、事業者に対する指導は徹底していく。 (H30運営方針 具体的取組1-2-1)	②
14	H29.9	・平成30年度の事業の取組・方針について(平成29年区運営方針の戦略4-1に関連) 【まちづくりセンターについて】 「切り捨てる部分があって、新しい予算の取り組みを行うことができると思う。まちづくりセンターの存在がどれほど重要かということに対して、少し疑問がある。まちづくりセンターにかかる予算額を見直していただきたい。」というご意見をいただいた。	・まちづくりセンターの果たす役割として、会計事務の支援から、地域コミュニティの活性化、地域活動協議会の認知度を上げていく、地域活動協議会の自主財源の確保といった支援へと、今後、段階的に推移していくことから、まちづくりセンターの役割は重要であり、予算の確保は必要であると考えている。 (H30運営方針 めざす成果及び戦略4-1)	②

※分類

- ①当年度(29年度)において対応 ②30年度運営方針に反映または30年度に対応予定
 ③30年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他